

を合わせた予算金額。

教育委員会としても、義務教育学校設立を進めていることも視野に含め、中学生も無償化の対象とする方針が望ましいと考えているが、現状での課題もあり、今後、国からの計画方針が示されたときには学校給食会と協議をして議会に提示してまいりたい。



深澤 博幸

・「ポケふた」設置が経緯について
・深地層研究について

◎「ポケふた」設置が決定した経緯について

質問 11月26日、こども議会での町長答弁で、以前より申請中のポケモンキャラクターを印刷したマンホールふたが決定したと答弁ありますが、町民も議会も知りません。

町長 決定までの経緯は。(株)ポケモンと北海道



給食の様子

が平成30年10月に活性化に向け、連携、協力を目的に包括連携協力を締結。令和4年2月に配置希望を伝え、全国的に希望があり、決定は令和6年11月以降となる説明。令和7年度中に確定との連絡があった。

質問 決定報告を町民、議会にされない理由は。

町長 設置が決まった時点で周知すべきだったが、時

間を要していることから、何らかの報告をすべきと思っていた。

質問 ポケふたは何個、今後の予定は。

町長 予定の設置方法がポケモン社内の設置要件を満たさないことが判明。設置方法、時期は調整中。

質問 著作権、商標登録、製作費は。

町長 所有権以外の一切の権利はポケモン社に留保。製作費は寄贈のため、0円。



ポケふたと町のカラーマンホール

◎深地層研究について

質問 2000年に核抜きを条件に三者協定が締結され、以来、今日に至り、2028年度まで終了予定。

電源立地交付金、深地層

研究センター職員、家族の移住による人口増加、地元企業発注による雇用などの経済効果などが生まれた事実であり、今後、何かの理由で延長をされた場合は。

町長 協定書第7条の規定により計画内容変更する場合、事前に機構、北海道、幌延町と協議することになり、本町としては、関係省庁、原子力機構に対して、幌延深地層研究計画の着実な推進を要望している。

質問 現在の施設(地下事務所、展示館、国際交流施設)などの跡地利用の要望、検討は。

町長 国際交流施設については、生涯学習センターと一体であるため、前町長が引き続き利用したいとの答弁があり、私も同様と考える。その他の施設の跡地利用は特に構想はない。

質問 深地層研究センター終了後の交付金などの税収対策は。

町長 現時点の税収減対策に対する考えは、研究計画の着実な推進を要望するこ

とが最優先と考える。

質問 埋め戻しの延長、有効活用の要望する民間組織の設置についてどう考えるか。

町長 民間の方々の活動に對しては、どうこう言う立場ではない。心強い話。今後は、このフィールドが大切な物か、そうでない変化が生まれたときは、北海道、機構、幌延町の三者で協議を進め、求めていく。

12月10日 第7回幌延町議会 定例会

第7回幌延町議会定例会が12月10日(水)に開会され、2名の一般質問のほか、報告4件、議案16件を原案どおり可決し、同日閉会した。

▼報告第1号

専決処分報告について(問寒別橋橋梁補修工事請負契約の変更)

契約金額7千923万3千円に変更。